

— 聞いて、読んで、納得 —

「支援募金」Q&A



プラン氏

計画を立てるのが得意中の得意。何でも知ってるしっかり者！



しえんさん

みんなを支える頼れるお姉さん。とっても聞き上手な優しい心の持ち主！



たっせい君

目標達成のために努力を惜しまない頑張り屋さん。いつも前向き！

来年に迫った母校の創立70周年記念事業を後押しする同窓会の「支援募金」活動に、いよいよ本腰を入れる段階になりました。事業主体の大学とともに同窓会、後援会の三者が一体となって募金目標額（1億4,000万円）を達成し、記念事業の成功を目指しています。そこで、あらためて「支援募金」の目的や意義などを“特別編集委員”のプラン氏、しえんさん、たっせい君に「Q&A」形式で分かりやすく語り合ってもらいました。



同窓会が呼び掛けている支援募金って何に使われるの？



その前に、大学が計画している70周年記念事業の全体を見ておくことにしよう。メインイベントの記念式典は“付き物”として、肝心なのは70周年を節目に大学の未来に活力を生む「目玉事業」なんじゃ。その筆頭格は新しい図書館の建設だが、ほかにも国際交流会館（仮称）の実現、在校生（同窓会の学生会員）にとって長年の願望である北方キャンパスの厚生会館（生協食堂）のリニューアル、老朽化のひどいサークル棟の改修、ひびきのキャンパスにちゃんとしたサークル棟の整備などを描いておるんだな。さらに、創立70周年記念誌を作ったり、大型国際会議のアジア未来会議の開催を誘致したり、ひびきのキャンパス（国際環境工学部）の開設15周年の記念事業も計画しているんじゃないよ。



わーっ、盛りだくさん！在校生にとっては大きな期待が膨らむ記念事業になるのね。



そうなんじゃ。大学はこれらにかかる総事業費を27億円と見積もっておるんだが、図書館の建設費などは大学設置者の北九州市の補助金、大学の基金などで賄えるんじゃが、厚生会館（生協食堂）やサークル棟の整備費などは残念なことに補助金の対象にならないんだよ。それで、それらに必要な1億4,000万円を寄付金（募金）で調達しなければならん。

そこで、同窓会は「在校生（学生会員）の期待を裏切るな、泣かせるな」といえば大げさだが、在校生が熟望している施設の整備を実現させようと「支援募金同窓会実行委員会」を立ち上げ、全国48支部が丸となって「支援募金活動」を展開しているわけなんじゃ。



そういうことなのね。支援募金の目的と使い道がよくわかったわ。



その“目玉事業”の新しい図書館の魅力を知りたいなあ。



オホン、まかせなさい。新図書館は、いまある図書館とつなぐ形で、創立70周年の平成28年4月の開館を目指しておるんじゃ。地上4階建て、広さは延べ約3,850㎡。1階には「ラーニング・コモンズ」といって、学生が主体的に、あるいは共同して学ぶ場が設けられることになっているんじゃない。分かったかな。



新図書館の完成図



聞いた話だけど、環境配慮技術というのを取り入れ、消費するエネルギーを抑える「ECO図書館」になるんだって。

それに蔵書を収めるスペースも現在の約57万冊から72万冊にまで拡大するんだって。専門書や資料などの収蔵数がそれだけ増やせるんだ。



すごいわね。



まだあるんじゃ。新図書館は北九州市立大学の学生はもちろん、市民もこれまで通り利用できるんだ。「地域に根ざした大学」という大学の基本理念に沿って「地域に開かれた図書館」をさらに充実させようというわけじゃな。



ただ、その新図書館の備品や機能の拡充などに公費を回す余裕がないので、これも募金でまかなうことになるんだ。



学生にとってキャンパス生活のオアシスともいえる厚生会館（生協食堂）も生まれ変わるのね。



そうなんじゃ。厚生会館は主に学生の食堂として利用されているんだが、建築から40年経っていきなり老朽化が進んでいるうえ、学部の増設で学生が増えて手狭になり、使い勝手が悪くなる。ランチタイムには、入り口に列が並び、雨の日は傘の行列じゃ。傘の中で黙って待つとる在校生の姿を見ると、かわいそうでう。そこで、この会館をもっと便利に、もっと快適にするために改修するんじゃ。



食堂が狭いのでランチタイムには入り口に行列ができる厚生会館の生協食堂



立派な教室での勉強も大事だけど、食事をしながら友だちと語り合う食堂やサロンのような空間もキャンパスの大きな魅力だものね。



これは、たいへんだ！



充実した豊かなキャンパスライフにはサークル活動が欠かせないけど、サークル会館もずいぶん古くなっているよな。



そのとおりじゃ。建築から40年を超えた北方キャンパスの第1サークル会館は建物全体の傷みがひどい。あちこちの部室の壁が破れて、通路の天井に穴が開いて快適な環境とはほど遠い。思い切った改修工事が迫られているんじゃ。ひびきのキャンパスでは、サークル活動が活発になって部室が足らん。それを補うために新しくサークル棟を建てるんじゃよ。



通路は薄暗く、床のタイルも随所ではがれている



学生にとってサークル活動も人間性を磨く意味でも大事だわ。ふうん、これで支援募金に寄せる期待が大きいことが、だんだんはっきりしてきたわ。



左：破れたまま修繕が放置された部室の壁 右：老朽化で天井板が落ちて大小の穴が開いた通路の天井



ところで、その支援募金、どんな方法で進めているの？



ここは僕の出身だね。大学は1月下旬に同窓会の協力を得て、住所が判明している卒業生（同窓会会員）33,000人に「募金趣意書」と、募金への協力をお願いする文書を送っているし、前もってリストアップした企業や団体などを直接訪ねてお願いもしているんだ。

後援会は在校生の保護者を中心に協力を求め、同窓会は本部と全国の48支部が一体となって同窓生

に募金を呼びかけているんだよ。同窓生の「いま」があるのも、よくよく考えてみると、母校で過ごしたキャンパス生活があったからだと思うんだ。



そうね、母校の存在が「いまの自分」の骨格の1つになっているはずだよ。



だから、そのことへの恩返しと、現在と将来の後輩たちが快適に学ぶことができるよう、同窓会は、それぞれができる範囲で母校の環境整備に力を貸してほしい、と同窓生一人ひとりに訴えているんだ。



大学に寄付(募金)すると、メリットはあるのかしら？



まず「税制上の優遇措置」が受けられるというメリットがある。聞き慣れない言葉がいろいろ出てきて、話はちょっと堅くなるけど、しっかり聞いてね。

同窓生や保護者、つまり個人が大学に寄付(募金)した場合、「所得税の寄付金控除」というのがあって、税務署に必要な書類を添えて確定申告すれば、税金が軽減されるんだ。軽減されるのは、一応の目安として「寄付金から2,000円を差し引いた額に、所得税の税率を掛けた額」になる。所得税の税率は、それぞれの「課税所得」(給与収入から給与所得控除を差し引いた額から、さらに社会保険料や生命保険料、配偶者控除などを引いた額)によって決まっていて、①課税所得が1,000円以上195万円未満は5%、②195万円以上330万円未満は10%、③330万円以上695万円未満は20%、④695万円以上900万円未満は23%、⑤700万円以上1,800万円未満は33%、⑥1,800万円以上4,000万円未満は40%なんだ。

だから、例えば、3万円を寄付した場合、還付額は「(30,000円 - 2,000円) × 税率」で、①は1,400円、②は2,800円、③は5,600円、④は6,440円、⑤は9,240円、⑥は11,200円となる。もっともこの額は、最初に言ったように、あくまでも一応の目安なんだよ。

来年2月15日から3月15日までの申告期間に平成27年分の確定申告をすると、国から、募金した人が住んでいる市区町村に通知があり、市区町村が平成28年度分の住民税を控除してくれるんだ。つまり所得税と住民税がともに安くなるわけで、これは大きなメリットだよな。

また、所得税は課税されないけれど住民税は課税されているという人は、必要な書類を添えて市区町村に申告すれば、住民税が控除されるんだ。参考までに、法人の場合は、全額損金算入となるんだ。



これを機に募金について考えてみよう



ほかに、例えば「ふるさと納税」のような特典はあるの？



あるとも！寄付した人が承諾すれば、その人の名前が、寄付の募集期間中はずっと大学のホームページに掲載されるし、個人で3万円以上、法人で5万円以上寄付すると、A「北九州の郷土料理めかみそ炊きセット」、B「北九州のご当地グルメ 門司港発祥焼きカレーセット」、C「北九州の伝統工芸：小倉織ハンカチセット」の中から、

いずれか1つを選ぶと、それをもらえるんだ。個人で5万円以上、法人で10万円以上寄付すると、A、B、Cのいずれか1つがもらえるほか、「創立70周年記念事業寄付者銘板」に名前を記して学内に掲示されるんだよ。



いいこといっぱいね★



ところで、これまで大学の創立周年事業で、同窓会はどんなことをしてきたの？



1つは、開学40周年記念事業として、昭和60年10月1日から62年9月30日まで、総額1億円を目標に、1口5,000円で募金し、後援会からの寄付2,000万円を含め、これを達成したんだよ。そして、国際交流基金の創設寄付金として4,300万円、新築した体育館兼講堂の綴帳一式(制作費1,350万円)など合わせて6,270

万円を大学の発展に関する事業に充てたんだ。2つめは、同窓会創立50周年記念事業として平成11年4月1日から13年3月31日まで、総額5,000万円を目標に1口5,000円で募金し、目標額を上回る5,500万円を達成したんだ。この時も、大学の発展に対する支援事業に1,720万円を充てた。ともに同窓会の結束力と行動力を示す成果だね。今回も、これらに劣らぬ“募金エネルギー”を示したいと、同窓会は頑張っているんだ。



北九州市立大学で初めてと思うけど、国際交流施設(仮称)って、どういう施設なの？



大学が「地域に根ざし時代をリードする人材の育成」との理念を掲げて、優れた語学力に加え、多様性を受け入れる柔軟性、卓越したコミュニケーション能力、さらに高いモチベーションを持って世界の舞台で活躍できる人材を目指しているのは知っておるじやろう。この施設は、そうした教育目標の実現に向けて整備を検討して

おるんだ。日本人学生と留学生がルームシェア(ユニット型)方式で生活し、互いに切磋琢磨し、異文化の交流、豊かな人間形成、語学力、コミュニケーション能力の向上など、グローバル人材の育成を目指す。と大学はその活用法を考えるとようじゃ。「ひびきの」には留学生用の宿舎が整備されているんで、北方にもぜひ、ということじゃ。



外国の大学生にとっても、こうした受け入れ施設があれば、安心して留学できるし、グッドアイデアだね。



記念事業に挙げている、大学がホスト校を務めるアジア未来会議って、どんな会議なの？



2年ごとに開催されている国際会議でな、今回が3回目。日本では初めての開催なんじゃ。第1回目はタイのバンコクで開かれたんだが、その時にホスト校だったタイの大学に頼まれ、わが母校もホスト校に名を連ねたんじゃ。2回目は平成26年にインドネシアのバリ島で開かれておる。アジアを中心とした世界各国から、日本に関心のある若手や中堅の研究者約350人、総勢約

1,000人が北九州に集まって、自然科学、社会科学、人文科学の各分野の研究発表やディスカッションが行われる予定じゃ。



わが母校が、国際会議を誘致し、そのホスト役を務めるというのは、それだけ力をつけてきたということで、うんと自慢していいことだね。



まことにその通り。創立70周年は大学の存在感を国の内外に示すまたとない好機の到来じゃ。

みなさんに、記念事業について、わかってもらえたかな？



これからの北九大が楽しく♪温かいみなさんからのご支援お待ちしております！



とっても大規模な記念事業だけど、目標達成のために頑張るよ！みなさん応援よろしくね！

